

2006 年度 委員会事業報告書

総務委員会

委員長 早田 雅夫
担当専務理事 田中 聡

2006 年度 年間事業決算書

総務委員会

2006年度 委員会報告

回数	月 日	委員会並びに事業開催場所	出席者数	欠席者数
1	10月 6日	委員会・JCLルーム	4名	3名
2	10月30日	委員会・JCLルーム	5名	2名
3	12月15日	委員会・JCLルーム	5名	2名
4	1月 7日	委員会・JCLルーム	2名	5名
5	1月10日	委員会・JCLルーム	4名	3名
6	1月16日	1月通常総会・人吉商工会議所	17名	13名
7	1月18日	新年会・あゆの里	22名	9名
8	2月 3日	委員会・JCLルーム	4名	3名
9	2月16日	2月度熊本会議例会・県民交流会館パレア	17名	4名
10	3月 1日	委員会・JCLルーム	4名	3名
11	3月15日	3月度九州地区協議会長訪問例会・あゆの里	28名	4名
12	3月31日	委員会・JCLルーム	2名	5名
13	4月 3日	委員会・JCLルーム	4名	3名
14	6月15日	6月度次年度役員選考委員選出例会・丸惠本館	23名	11名
15	7月 8日	委員会・JCLルーム	1名	6名
16	8月17日	8月通常総会・人吉商工会議所	30名	11名
17	12月 2日	12月度卒業式・望年会・人吉商工会議所 丸惠本館	59名	11名

事業内容報告

本年度の総務委員会は、1月から12月まで事業がつづきましたが、専務理事及び委員会メンバーのおかげで無事に終了いたしました。誠にありがとうございました。なかでも専務理事におかれましては、すべての事業においてアドバイスいただきましてありがとうございました。委員長という役職をいただいておりますが、初めての経験で専務理事や委員会メンバーに大変ご迷惑をかけたと思います。深くお詫び申し上げます。地区長訪問例会では、LOMメンバーの出席率が約88%となりました。新年会では祝宴時間を長くしたほうが良いとシニアメンバーからのご指摘がありましたので、次年度は祝宴時間について検討していただきたいと思っております。今年度は熊本ブロック長がLOMメンバーということもあり、熊本会議例会では、LOM外でしたが、多数のLOMメンバーが出席していただきまして感謝しました。基本資料作成では、メンバーのプロフィールの返信状況が遅れ、業者を変更したことも重なり、作成が一ヶ月遅れたことを深くお詫び申し上げます。8月通常総会では、案内文書に定款第3章第24条の項目を記載したことにより、8月までの会費未納者には表決権はない旨を明記したことで表決権数が昨年より上がりましたので、引き続きお願いします。最後の卒業式・望年会では、直前理事長をはじめとする3人のメンバーが卒業されました。

担当専務理事統括所見

本年度、総務委員会では、「輪(和)」の追求をテーマに、会員が丸となり、「輪(和)」ころを持って、落ち着きのある事業展開を行うために活動してきました。早田委員長におかれましては、初めての委員長ということもあり、年当初は一番落ち着きがなかったように感じます。委員会の集まりも悪く、失敗もしました。しかし、月をおう毎に委員長としての自覚も生まれ、一年間活動できたことは、委員長にとっても本当に良い経験がされたのではないのでしょうか。総務委員会では、1月の通常総会から始まり12月の卒業式例会まで、一年を通して青年会議所にとって非常に重要な事業を担当しました。青年会議所の活動自体がしっかりしなければ、対外的な運動もできないでしょうし、その活動の中心となるのが総務委員会です。そのひとつひとつの事業に対し、万全の準備を持って臨まないで事業自体がうまくいかず、会員にも迷惑をかけてしまうということも学ばれたと思います。この経験を忘れることなく、仕事や今後のJC活動に生かしていただきたいと願っております。一年間本当にお疲れ様でした。そして、委員長、委員会メンバーの更なる活躍を期待しております。

(収入の部)

科 目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
事 業 費	310,000	290,000	20,000	
登 録 料 収 入		769,000	- 769,000	新年会 65,000 円 3月地区長 訪問 684,000 円 望年会 20,000 円 新年会御樽
雑 収 入		20,000	- 20,000	新年会御樽
			0	
収 支 合 計	310,000	1,079,000	- 769,000	

(支出の部)

科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
1 月 通 常 総 会	0	0	0	
総合基本資料作成	170,000	170,000	0	
2006 年度新年会	10,000	40,000	- 30,000	
2 月 度 熊 本 会 議 例 会	70,000	51,236	18,764	
(社) 日本青年会議所 九州地区協議会 会 長 訪 問 例 会	30,000	399,080	- 369,080	
6 月 度 次 年 度 役 員 選 考 委 員 員 選 出 例 会	10,000	0	10,000	
8 月 通 常 総 会	5,000	4,500	500	
12 月 度 卒 業 式 例 会 ・ 望 年 会	15,000	34,250	- 19,250	
			0	
			0	
			0	
			0	
予 備 費			0	
支 出 合 計	310,000	699,066	- 389,066	
	余剰金	379,934		

2006 年度 委員会事業報告書

会員開発委員会

委員長 堤 政樹
担当副理事長 川口 広喜

2006年度 委員会報告

回数	月 日	委員会並びに事業開催場所	出席者数	欠席者数
1	10月14日	第1回委員会 事務局	4名	3名
2	4月15日	第2回委員会 翠嵐楼	7名	6名
3	4月20日	4月度会員開発委員会担当例会 商工会議所	24名	15名
4	6月 4日	還暦並びに厄入り寿ぎの宴 青井神社・チサンカントリークラブ人吉・丸 恵本館	33名	19名
5	6月27日	第3回委員会 丸恵本館	4名	5名
6	9月 9・10日	9月度会員開発委員会担当キャンプで例会 人吉民芸の村	39名	26名
7	11月16日	11月度会員開発委員会担当「褒賞例会」 丸恵本館	27名	14名

事業内容報告

本年度1年間を委員会メンバーと共に「楽しく学ぶ」をテーマとして、会員相互又、シニアクラブの諸先輩方との親睦、そして、修練の場と考え、例会の企画や委員会開催を行ってまいりました。各例会において、研修の場を通してのJCの楽しさと、親睦の場を通してのJCの楽しさが少しでも出席されたメンバーの方には感じて頂けたと思います。年間の予定にありました新入会員セミナーを委員長の力不足により開催できなかったこと、申し訳なく思います。そんな委員長を一年間支えて頂きました。岩下・馴田両副委員長はじめ、委員会メンバー、そして、大変な一年を過ごされたにも関わらず、支えて頂いた川口副理事長、委員会に携わって頂いた皆様に感謝します。一年間ありがとうございます。

担当専務理事統括所見

堤委員長の気配りと行動力で、今年度の会員開発委員会の全事業を終了する事が出来ました。4月の例会、9月のキャンプ例会、11月の褒賞例会と委員長みずから率先して行動していただいた、今年度の委員会テーマ「楽しく学ぶ」は、LOMメンバーの皆様にとっても、あらたなる気づきと、来年の活動の活力になったのではないかと思います。ご参加いただいた委員会メンバー、そしてLOMメンバーの皆様、一年間ありがとうございます。堤委員長おつかれさまでした。

2006 年度 年間事業決算書

会員開発委員会

(収入の部)

科 目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
事 業 費	240,000	222,000	18,000	
登 録 料 収 入	0	130,600	- 130,600	9月例会登録料 ¥55,600 厄入りシニアクラブ分登録料 ¥75,000
			0	
			0	
収 支 合 計	240,000	352,600	- 112,600	

(支出の部)

科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
4 月 度 会 員 開 発 委 員 会 担 当 例 会	50,000	29,144	20,856	
還 暦 並 び に 厄 入 り 寿 ぎ の 宴	50,000	38,545	11,455	
9 月 度 会 員 開 発 委 員 会 担 当 キ ャ ン プ で 例 会	100,000	112,983	- 12,983	
1 1 月 度 会 員 開 発 委 員 会 担 当 「 褒 賞 例 会 」	40,000	38,500	1,500	
スキルアップセミナー	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
予 備 費			0	
支 出 合 計	240,000	219,172	20,828	
	余剰金	133,428		

2006 年度 委員会事業報告書

社会開発委員会

委員長 深野 誠一
担当副理事長 中神 寿一

2006 年度 年間事業決算書

社会開発委員会

2006年度 委員会報告

回数	月 日	委員会並びに事業開催場所	出席者数	欠席者数
1	10月14日	第1回社会開発委員会JCLルーム	5名	3名
2	11月 8日	第2回社会開発委員会JCLルーム	3名	5名
3	11月29日	第3回社会開発委員会JCLルーム	5名	3名
4	12月26日	第4回社会開発委員会JCLルーム	4名	4名
5	1月18日～ 20日	韓国 南大邱青年会議所訪日対応	27名	10名
6	1月30日	第5回社会開発委員会JCLルーム	3名	5名
7	2月28日	第6回社会開発委員会 海山	3名	5名
8	3月28日	第7回社会開発委員会JCLルーム	4名	4名
9	4月28日	第8回社会開発委員会JCLルーム	5名	3名
10	5月21日	第2回わんぱく相撲入吉場所	91名	24名
11	6月19日	第9回社会開発委員会JCLルーム	7名	4名
12	7月 9日	7月度例会「社団法人吉青年会議所認証 記念並びに青井阿蘇神社御鎮座1200年 記念お茶会」	87名	14名
13	7月19日	第10回社会開発委員会会議JCLルーム	8名	4名
14	7月29日～ 30日	第22回わんぱく相撲全国大会	12名	
15	10月 2日	10月度例会青井さん祝1200年祭奉納例会	22名	19名

事業内容報告

まず本年度社会開発委員会の委員長として数多くの貴重な体験をさせて頂き有難うございました。初めての委員長でしたので、不慣れなためご迷惑をお掛けしました。また、サポートして頂いた中神副理事長、加登住副委員長には感謝しております。委員会事業の1月の南テグ対応では、姉妹JCとしての絆がより一層深まりました。5月度例会では小学生たちがわんぱく相撲全国大会を目指し一生懸命試合をする姿をメンバー全員で応援できました。7月度例会のお茶会例会では青井さん1200年祭の冠を頂き吉青年会議所をPRできお茶会の歴史を学ぶ事が出来ました。最後の10月度例会の青井さん祝1200年祭奉納例会ではメンバーの寄付により、のぼり旗の奉納が出来ました。又、おくんち祭に参加するきっかけになったと思います。1年間本当に有難うございました。

担当専務理事統括所見

本年度社会開発委員会は「発展と継承」をテーマに地域のまちづくりと青少年育成事業を中心に事業を展開してまいりました。初めての委員長経験にもかかわらず、年度当初の南大邱JC訪日対応からエンジン全開で走り続けた深野委員長は、社会開発委員会の事業だけではなく全ての例会・事業に参加されるメンバーを牽引し、「JCマン」として模範的な活動の1年間だったと思います。社会開発委員会は対外的な事業が多く、他団体との協議にも時間を費やされ精神的にもタフでなければなりません。深野委員長の疑問点を一つひとつクリアしながら真剣に取組む姿勢は他団体に対してもメンバーに対しても良い影響を与えてくれたと思います。今回の経験を次年度以降も継続していってくれることを期待しております。1年間お疲れ様でした。

(収入の部)

科 目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
事 業 費	250,000	250,000	0	
雑 収 入	0	30,000	- 30,000	1月の南大 邱対応の交通費の一部
寄 付 金 収 入	0	54,000	- 54,000	おくんち例 会のメンバ ーの寄付
			0	
収 支 合 計	250,000	334,000	- 84,000	

(支出の部)

科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
韓国 南大邱青年会 議所訪日対応(1月)	45,239	75,239	- 30,000	
第2回わんぱく 相撲入吉場所	10,000	0	10,000	
韓国 南大邱青年 会議所訪日対応(6月)	64,761	0	64,761	
7月度例会「社 団法人吉青年会議所 認 証 記 念 並 び に 青井阿蘇神社御鎮座 1200年記念お茶会」	100,000	93,418	6,582	
10月度例会「青井さん 【祝1200年祭】 奉 納 例 会	30,000	84,000	- 54,000	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
予 備 費			0	
支 出 合 計	250,000	252,657	- 2,657	
	余剰金	81,343		